



津久井康雄 議員

寄居桜沢地区 (仮称) 産業団地整備事業は 答弁：令和2年度分譲、4年度引き渡し予定です

問 寄居桜沢地区(仮称)産業団地のエントリー企業の募集が、8月5日に町ホームページに掲載されました。募集開始の経緯と募集方法、周辺住宅地への対策、通学路の安全対策について伺います。

答 昨年6月、県企業局が当該事業の調査を開始し、町が地権者説明会等を実施。地権者の意見を踏まえた土地利用計画案を作成し、ことし2月に説明会を実施、3月に地権者から合意書の取得を開始し、7月に取得を完了。8月から企業の募集開始となりました。募集はエントリー&オーダーメイド方式。産業団地の外周に幅10メートルの緑地帯を設け、周辺の土地との間に一定の緩衝帯を配置する計画です。また団地内の新設道路を寄居中や桜沢駅方面に車両の通り抜けができない形態とすることで、児童生徒の安全な通学に配慮した計画となっております。

企業誘致

町HP [寄居桜沢地区(仮称)産業団地のエントリーについて]



寄居桜沢 (仮称) 産業団地 (イメージ)

学童保育

町HP [放課後児童クラブ]



安心して異年齢と交流する子どもたち

どの子にも豊かな放課後の生活を 答弁：放課後児童健全育成事業の確実な実施で

問 働く親にとつては、学童保育所があることで、安心して仕事に集中できます。鉢形小・折原小の子どもたちの通所について伺います。

答 委託先の寄居町学童保育の会に対し、改めて小学校から放課後児童クラブに移動する際の対応等の点検を指示。現在、会から送迎対応の相談があり、対応策を研究します。

問 桜沢学童の手狭問題を伺います。

答 児童数の推移や利用状況等を注視し、必要に応じて対応を検討します。

問 利用料の公的支援を伺います。

答 寄居町学童保育の会において、保育料の値下げや免除を検討しており、状況を見守っています。

問 学童保育所への運営費補助の増額について伺います。

答 現状の委託料等の中で、対応できるものと考えています。

田母神節子 議員



笠原則夫 議員

国道254号の歩道整備は 答弁：引き続き、県に対して要望していきます

問 平成3年に町が作成した、埼玉県環境整備センター建設に伴う要望事項について、男衾地区の国道254号の歩道整備は28年過ぎても完了されていません。一部実施されていますが、民家が多く児童生徒の通学路になっている場所は、今も未着工のままです。

答 要望書を県に提出して以降、要望箇所の全長約3200メートルの内、約1100メートルの整備が実施されており、限られた県の財源の中で、順次事業を進めていると聞いています。

引き続き、県に対して要望を行っていきたくと考えています。

歩道整備

県HP [熊谷県土整備事務所]



歩道があれば脇道からも見やすいのに

寄居名産

アグリ館HP



知ってますか？ 寄居特産品

魅力あるよりいブランド品は

答弁：みかんジュース、ジャム、とろとろナスです

問 よりいブランドは何を創出していくのですか。

答 観光地としてのブランド力を高め、町内の農産物を活用した加工品や料理等の特産品化し広めていくことが、ブランド創出につながるかと考えています。

問 物産品の生産推進の考えは。

答 みかんは、寄居町観光農業推進協議会に苗木購入費を補助、寄居とろとろナスは、研究会に苗木購入費や農薬代等を補助しています。

問 生産品の加工施設と加工の現状販売網の考え方は。

答 農産物加工施設「アグリ館」で、みかんジュースやブルーベリージャム等を生産販売。同館の加工品は館内や町内農産物直売所で販売しており、寄居とろとろナスも農産物直売所で販売。販売網は、生産者等の自主的な開拓に協力していきたいと考えています。

保泉周平 議員



大澤 博 議員

駅自転車駐輪場に屋根設置を 答弁：通行支障防止が目的。設置する考えはない

問 当町には、東上線3駅、秩父線2駅、八高線2駅と寄居駅の計8駅があり、タクシー乗降場、自転車駐輪場、自動車駐輪場等が設けられ、多くの町民が利用しています。自転車は手軽に使用して健康増進にもつながるため、多くの方が通勤・通学に利用しています。しかし、自転車駐輪場には屋根がなく、「雨の日は車体や衣服が濡れてしまう」、「自転車がかびて傷んでしまう」ので、屋根を設置してほしいとの声が出ています。駅の自転車駐輪場に屋根を設置し、利便性を向上させることが必要だと思いますが、町の考えを伺います。

答 駅の自転車駐輪場は、皆様の安全と利便性を確保するために、歩行者や車の通行支障にならないような場所に整備したものです。このことから、無料で利用いただくことを前提にしており、費用をかけて屋根を設置する考えはありません。

駅駐輪場

国交省HP [自転車等駐輪場の整備のあり方に関するガイドライン]



多くの人が利用する駅駐輪場

さくら猫

(公社) ACジャパンCM 「にゃんぱく宣言」*動画



耳のV字カット(さくら)は不妊去勢手術の印
*写真は(公社)どうぶつ基金HPより

動物との共生、犬猫殺処分ゼロへ

答弁：終生飼養の意識を高めるよう周知します

問 動物虐待の罰則強化や飼い主情報記録したマイクロチップの装着義務化を柱とした「改正動物愛護管理法」が6月に可決成立。町の殺処分となる犬猫の現状を伺います。

答 町では殺処分数は確認していませんが平成30年度は犬11頭、猫35頭を動物指導センターに送致。元の飼い主へ「返還」、新しい飼い主等へ「譲渡」されなかった犬猫は「殺処分」となります(県では平成30年度、犬185頭、猫619頭が殺処分)。

問 殺処分を防ぐため、飼い主のいない猫をなくすことを目的とした「地域猫活動」は、TNR活動(*)を通して野良猫の繁殖を制限。近隣市町で実施している「さくら猫無料不妊手術事業」等の助成制度の実施は。

答 終生飼養の観点からも多頭飼育の抑制も含め、重要な取り組みと考えます。近隣市町の先進事例を研究します。

鈴木詠子 議員



*TNR活動 「Trap(トラップ):捕獲、Neuter(ニューター):去勢、Return(リターン):返還」を通して野良猫の繁殖を防ぐ手法です。